

# 入札前参考積算条件書

(横浜横須賀道路 釜利谷第二高架橋耐震補強工事)

令和8年1月

東日本高速道路株式会社 関東支社

## 【注意事項】

- (1) 入札前参考積算条件書は、入札（見積）参加者が見積作成する際の参考資料であり、契約書第1条に規定する設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- (2) 本資料に掲載の単価等についての質問・問合せには一切応じられない。
- (3) 本資料の全部又は一部を閲覧者が複製、転載、電子媒体等へ入力し、また、それらを第三者に譲渡、販売、配布することを禁止する。
- (4) 本資料を基にした公表資料の二次的著作物の作成を禁止する。
- (5) 本資料に掲載の単価等については、上記工事の当初積算に使用する主要な材料の設計単価等であるため、上記以外の工事に適用できない。

## 1. はじめに

「入札前参考積算条件書（以下、「本条件書」という。）」は、東日本高速道路株式会社（以下、「NEXCO 東日本」という。）関東支社が発注する工事の積算に用いる下記項目について掲載したものです。ただし、対象がない項目は掲載しません。

- ・ 材料単価
- ・ 間接工事費の適用工種および補正区分
- ・ 見積活用方式を採用した工事における当社採用単価
- ・ 土木工事積算基準および単価適用年月等

## 2. 材料単価

- ・ 本条件書は、『「土木工事単価ファイル」（NEXCO 東日本）』、『「月刊積算資料」、「積算資料電子版」、「土木施工単価」（一般財団法人経済調査会）または、「月刊建設物価」、「WEB 建設物価」、「土木コスト情報」（一般財団法人建設物価調査会）（以下、物価資料等という。）』に掲載されていない材料等について、市場取引価格の調査を実施し、その結果を基に設定した材料単価を掲載しています。
- ・ 荷渡し条件は、特記のない限り、現場着価格とします。
- ・ 本条件書に示す材料等の仕様については、適用工事の設計図書によるものとする。

## 3. 間接工事費の適用工種及び補正区分

本工事に適用する土木工事積算基準第2編に示す適用工種区分及び、各補正の適用について記載しています。

## 4. 見積活用方式を採用した工事における当社採用単価

入札者より提出された最終参考見積書のうち、契約制限価格の設定に活用した最終参考見積書における各見積対象項目の単価を記載しています。

## 5. 土木工事積算基準及び単価適用年月等

本工事に適用する土木工事積算基準の年度、土木工事等単価ファイルの年月、物価資料等の年月及び建設機械等損料表の年度について記載しています。

# 1.材料単価

## ①生コンクリート

名称	道路名	I C 区間	単位	単価 (円)
A1-5	横浜横須賀道路	釜利谷 J C T ～朝比奈 I C	m3	30,950
		釜利谷 J C T ～金沢自然公園 I C	m3	30,950
B2-2	横浜横須賀道路	釜利谷 J C T ～朝比奈 I C	m3	28,550
D1-1	横浜横須賀道路	釜利谷 J C T ～朝比奈 I C	m3	24,000

### ※留意事項

- ・単価には、有料道路料金費は含まない。

## ②その他材料

名称	規格・仕様	単位	価格	備考
ライナープレート	φ 9.5m、H=14.5m 補強リング含む	m	1,423,482	構造物掘削 特殊部 A
ライナープレート	15.766m*6.660m 補強リング含む	m	2,587,000	構造物掘削 特殊部 C
落橋防止構造	設計地震力 1276kN、設計遊間量 300mm L=4193mm	組	1,310,000	落橋防止構造 P1-1276(300)
落橋防止構造	設計地震力 1276kN、設計遊間量 300mm L=4262mm	組	1,310,000	落橋防止構造 P1-1276(300)
落橋防止構造	設計地震力 2109kN、設計遊間量 300mm L=5634mm	組	2,000,000	落橋防止構造 P1-2109(300)
落橋防止構造	設計地震力 2109kN、設計遊間量 300mm L=5413mm	組	1,990,000	落橋防止構造 P1-2109(300)
ゴム支承	設計最大反力 1070kN、支承重量 673kg アンカーボルト・その他部材含む	基	1,540,000	支承取替工 E-1070(673)
ゴム支承	設計最大反力 1090kN、支承重量 673kg アンカーボルト・その他部材含む	基	1,540,000	支承取替工 E-1090(673)
ゴム支承	設計最大反力 1090kN、支承重量 1582kg アンカーボルト・その他部材含む	基	3,300,000	支承取替工 E-1090(1582)
ゴム支承	設計最大反力 1100kN、支承重量 1582kg アンカーボルト・その他部材含む	基	3,300,000	支承取替工 E-1100(1582)
ゴム支承	設計最大反力 2780kN、支承重量 4089kg アンカーボルト・その他部材含む	基	6,280,000	支承取替工 E-2780(4089)
ゴム支承	設計最大反力 2830kN、支承重量 1598kg アンカーボルト・その他部材含む	基	2,880,000	支承取替工 E-2830(1598)

名称	規格・仕様	単位	価格	備考
ゴム支承	設計最大反力 2900kN、支承重量 4089kg アンカーボルト・その他部材含む	基	6,280,000	支承取替工 E-2900(4089)
ゴム支承	設計最大反力 3070kN、支承重量 1598kg アンカーボルト・その他部材含む	基	2,880,000	支承取替工 E-3070(1598)
アラミド繊維シート	目付量 525g/m <sup>2</sup> 、引張強度 2350N/mm <sup>2</sup> 、 引張弾性係数 78N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	10,300	アラミド繊維巻 立て工 C、D

※留意事項

- ・単価には、有料道路料金は含まない。

## 2.間接工事費の適用工種および補正区分

項目	内 容		
適用工種	橋梁保全工事（修繕）		
共通仮設費 現場管理費	施工地域補正	補正あり【一般交通影響あり（１）】	○
		補正あり【一般交通影響あり（２）】	—
		補正あり【市街地（D I D地区）】	—
		補正なし	—
	4週8休以上の現場閉所を行う場合		○
現場環境改善費	市街地（D I D地区）		—
	市街地（D I D地区）以外		○
	計上しない		—
一般管理費等	契約保証補正	補正あり	○
		補正なし	—

## 3.見積活用方式を採用した工事における当社採用単価

①見積対象項目（単価）

番号	項目番号	項目	単位	単価	備考
23	17－（11）	落橋防止構造 P3－618（250）	本	1,999,355	
24	17－（11）	落橋防止構造 P3－889（250）	本	2,225,475	
25	17－（11）	落橋防止構造 P3－921（300）	本	2,141,857	
26	17－（11）	落橋防止構造 P3－962（250）	本	2,047,496	

27	17－(11)	落橋防止構造 P3－965(500)	本	2,393,274	
28	17－(11)	落橋防止構造 P3－991(500)	本	2,289,953	
64	19－(1)	交通規制工 ランプ車規制 I×1	回	137,000	
65	19－(1)	交通規制工 車線規制 I×1×0×1・A1(夜)	回	252,000	
78	特－(5)	制震構造 制震ダンパー1500(±150)	基	11,562,831	
84	特－(7)	塗膜除去工 A	m2	1,041,171	
85	特－(7)	塗膜除去工 B	m2	1,080,607	
86	特－(8)	コンクリートはつり工 A	m3	6,119,941	

#### 4. 土木工事積算基準および単価適用年月等

項目	内容
土木工事積算基準適用年度	令和6年度版
土木工事等単価ファイル適用年月	令和7年10月
物価資料等適用年月	令和7年11月
建設機械等損料表適用年度	令和7年度版

ただし、落橋防止構造アンカー工、支承アンカー工、耐震補強鉄筋アンカー工、縁端拡幅アンカー工、段差防止構造アンカー工、横変位拘束構造アンカー工の削孔作業については、土木工事積算基準に拠らず、本条件書「5. あと施工アンカー削孔工における積算基準」に拠るものとする。

#### 5. あと施工アンカー削孔工における積算基準

あと施工アンカー削孔工（コアボーリングマシンによる削孔）

##### （1）適用

- ①落橋防止構造アンカー工、支承アンカー工、耐震補強鉄筋アンカー工、縁端拡幅アンカー工、段差防止構造アンカー工、横変位拘束構造アンカー工の削孔作業に適用する。
- ②事前調査として、鉄筋位置調査等が必要な場合は、調査範囲、調査方法を明示し、この費用を別途計上する。
- ③鉄筋との干渉により、削孔位置を変更し、再削孔する費用は、削孔単価に含まれていない。
- ④削孔機械は、削孔径及び作業内容を十分に勘案し、選択する。

## (2) 適用機械

コアボーリングマシンによるあと施工アンカー削孔工の適用機械は次表のとおりとし、他の機械による削孔においては別途考慮するものとする。なお、削孔径及び作業内容を勘案の上、削孔機械を設定するものとする。

表－１ あと施工アンカー削孔工 適用機械

名称	規格	備考
コアボーリングマシン	電動式	
発動発電機	2kVA ガソリンエンジン付	

## (3) 材料

コアボーリングマシンによるあと施工アンカー削孔工の材料は、次表のとおりとする。

表－２ あと施工アンカー削孔工 材料 (1 m 当り)

材料	単位	数量	備考
ビット	個	0.1596	

## (4) 施工歩掛

コアボーリングマシンによるあと施工アンカー削孔工の施工歩掛は次表のとおりとする。

表－３ あと施工アンカー削孔工 施工歩掛 (1 m 当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
土 木 一 般 世 話 役		人日	P1	
特 殊 作 業 員		人日	P2	
コアボーリングマシン		台日	P4	
発 動 発 電 機		台日	P5	

表－４ P1、P2

施工機械	P1			P2		
	水平	鉛直上方	鉛直下方	水平	鉛直上方	鉛直下方
コアボーリング	0.082	0.103	0.076	0.164	0.206	0.152

表－５ P4、P5

施工機械	P4			P5		
	水平	鉛直上方	鉛直下方	水平	鉛直上方	鉛直下方
コアボーリング	0.164	0.206	0.152	0.164	0.206	0.152

## (5) 日当たり標準施工量

コアボーリングマシンによるあと施工アンカー削孔工の日当たり標準施工量は次表のとおりとし、施工条件、施工方法等を十分考慮のうえ適用すること。

あと施工アンカー削孔工 日当り標準施工量

(1日当り)

項目	削孔方向	日当り標準施工量 (m)	摘要
コアボーリング	水平	12	
	鉛直上方	10	
	鉛直下方	13	

(6) 代価表

コアボーリングマシンによるあと施工アンカー削孔工の代価表は次表のとおりとする。

あと施工アンカー削孔工 代価表

(1m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
土 木 一 般 世 話 役		人日		表－3
特 殊 作 業 員		人日		表－3
コアボーリングマシン 損 料	表－1	台日		表－3
発 動 発 電 機	表－1	台日		表－3、機－6
ビ ッ ト		個		表－2
雑 品		式	1	上記合計額の2%

注) 機－6については、土木工事積算基準(4週8休)によるものとする。